



清郷

No.55
2013.4.26発行
社会福祉法人 清郷会
協和厚生園 日吉厚生園
九十九荘 十倉厚生園
ディクトクラ・輝
青空保育園
ワークわく・きよさと
TEL0476(93)1535㈹



目次

- 特集『虐待防止法が施行されて』 2~3
- ワークわく・きよさと
- 『そもそも就労支援施設って何?』 4~5
- 新和厚生園
- 『2013職員名鑑』 6~7
- 九十九荘
- 『春の2大イベント!』 8~9
- 青空保育園
- 『発表会を終えて』 10~11
- 日吉厚生園
- 『家族会主催 新年会』 12~13
- 十倉厚生園
- 『職員会対談 日々の支援を考える』 14~15
- 寄付・御礼など 16~17

通字

清郷会のホームページアドレス <http://www.kiyosatokai.or.jp> ご意見・ご感想をお聞かせ下さい。

平成二十四年度NHK歳末たすけあい配分として、十倉厚生園 ワークわく・きよさと、ディクトクラ・輝、協和厚生園に対し、四五七、七二〇配分金をいただき、十三品目の家電製品を購入することができました。寄付者の皆様及び共同募金会様に謹んで感謝の意を表します。

千葉県共同募金会助成事業



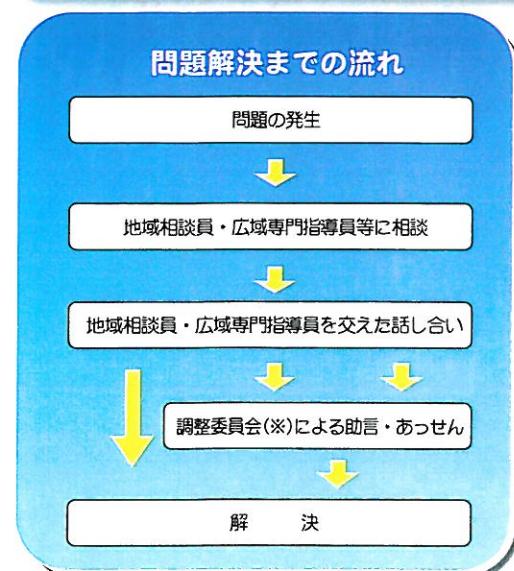
協和厚生園 水野進 新園長
昨年度まで協和厚生園と日吉厚生園の園長を尾又涉が兼任しておりました
が、今年度より尾又涉が日吉厚生園の園長に、前十倉厚生園園長の水野進が
協和厚生園の園長に就任致しましたので、「ご報告致します」。

- 日吉倉カラオケ同好会 様
- 吉台小学校PTA 様
- 片岡 彰子 様
- 小倉 恒 様
- 財団法人 諸岡報恩会 様
- 新東京国際空港公園クリスマスマスマスティバル実行委員会 様
- 福田 光雄 様
- イオン成田 様
- イオン八街 様
- 尾又 涉 (協和厚生園・日吉厚生園・平山厚生園・十倉厚生園・青空保育園)
- 水野 進 (日吉厚生園・十倉厚生園・平山厚生園・十倉厚生園・青空保育園)
- 石川 泰子 (日吉厚生園)
- 佐藤 順子 (青空保育園)
- 本庄 勉 (九十九荘・協和厚生園)
- 関根 庄子 (十倉厚生園)
- 横倉 司 (十倉厚生園)
- 三本 恵子 (十倉厚生園)
- 川瀬 寛子 (十倉厚生園)
- 内田 佳奈 (九十九荘)
- 越川 麻呂 (九十九荘)
- 宮野奈緒美 (九十九荘)
- 小野寺由美子 (九十九荘)
- 鹿田 千春 (九十九荘)
- 佐々木美奈 (十倉厚生園)
- 家崎 愛 (十倉厚生園)
- 塚本美輪子 (十倉厚生園)
- 秋葉 恵子 (青空保育園)
- 大林美知子 (青空保育園)
- 林田 令子 (ワークわく・きよさと)
- 山浦加代子 (九十九荘)
- 荒木 幸江 (九十九荘)

とうとう広報委員会を離れる時がやつてきた。十年以上務めてきた広報委員…私的なコラムと比して、いたあとがき…最後くらいは感動的なものを書きたいと思ったが、特に感慨深いものはない。
なせかと言えは行き過ぎていたからである。ここ数年は企画や原稿のアイデアが思い浮かばなくなったり、広報紙発行の時期になると憂鬱になる自分がいた。
行きついたのは、向こう広報費だけではない。日頃の支拂業務についても、どこかに似つかわしくなる気を失っていた。
勤務年数も十五年回り、いつのまにか上から數えの方が早くなつた。
四十路を目前にし、体力や気力の衰えを感じ、自分の限界も見入られる傾向…
「長く勤めている人は、そんな感じになつてしまつた璥が」
そんな子一マートで飲みの席を持たないなど思つていて了。
そんな折、共助会「コースの長期在籍会員顕彰式典の記事の中に、
我らが協和厚生園・支援費、大門和子ちゃん(親しみを込めて)が
『福祉と出会い』といつ題題で寄稿していました。
「仕事をして魅力を感じたり…同時に子育てと仕事を両立の難しさに悩み始めた時期でした。なんとなく毎日が過ぎ、自裏自棄になつた日々。」(坂井)
「そんな時、母が言った言葉。『利用者さんとの楽しさを大切にしないで、子供のために仕事は抜けなさい』」。そんな言葉をかけてくれたのです。」(坂井)
男女の違いや勤めた年数、没落なし、置かれている立場や様々な事情で悩むは違うけれども、誰もが苦惱を抱え、それを乗り越えようとしている。
皆さんには何の役に立ちませんが、今頃じつは私の気持ちを楽しんでくれた言葉は…
「仕事をして家族を養っていくだけでも素晴らしいことじゃないか。」
生きているだけで素晴らしい。生きているだけで感謝。
せっかくの自分の人生…疲れの時は休んで自分を必要で劣らつて、また頑張れる時も頑張ろう。いつも皆さと、自分の人生を楽しめますよ」というお話を。ついで、「最後になりましたが、今まで『きよさと』に寄稿していただいた方々、そして『あとがき』良かったよ。』と声をかけて下さった方々、ありがとうございました。とても大きな励みになりました。
次回からは新しい広報委員が新しい『きよさと』を作り上げてこなさなくてはいけないと思います。

障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律（障害者虐待防止法）

相談から問題解決までの流れは？



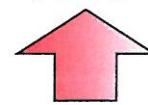
※『調整委員会』とは…

「調整委員会」の委員は、対象となる問題について専門的な見地からバランスのとれた判断ができるよう「障害のある人」、「県議会議員」、学識経験者や企業経験者、教育経験者など、さまざまな分野の「専門的知識を有する者」によって構成されています。

調整委員会では、双方の事情や言い分を検証し調整を図りながら、両者、解決に向けた助言やあっせん案の提示などをています。

このような行動は虐待にあたります（※1）

- | | |
|--------------------------|---|
| 身体的虐待 | 叩く、殴る、蹴る、つねる
無理やり食事を口に入れる
ベッドに縛りつける |
| 性的虐待 | 性器への接触、性的行為を強要する
キスする、裸にする
わいせつな映像を見せる |
| 心理的虐待 | どなる、ののしる、悪口を言う
仲間に入れない、子ども扱いする
わざと無視する |
| (ネグレクト)
放置・放任 | 食事を十分に与えない。
不潔な住環境で生活する
必要な医療や福祉サービスを受けさせない |
| 経済的虐待 | 年金や賃金を渡さない
財産や預貯金を着服する
日常生活に必要なお金を与えない |



障害者虐待防止法では、すべて的人に障害のある人への虐待を禁止しています。特に「養護者」「障害者福祉施設従事者等」「使用者」による上記の行為を「障害者虐待」と定めています。

清郷会ではどのような活動をしているのか？

各施設、名称は異なるが、「虐待防止委員会」や「権利擁護委員会」を設置して、虐待の防止や早期発見に努力しています。

積極的に障害者虐待防止法の研修会に参加し、その研修内容を全職員に会議などで報告。

各施設で独自に勉強会を開いて、支援の質を高める努力や取り組みが行われています。

利用者さんからの苦情相談を聞く窓口となる職員を置き、話す場を用意する。

虐待では？と思ったら…どこに相談すれば？（※2）

まずは市町村の障害者虐待防止センターへ連絡して下さい。

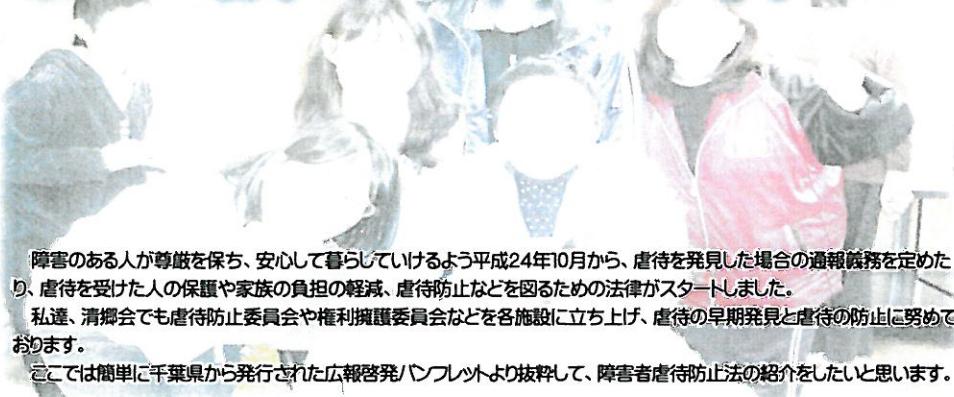
市町村障害者虐待防止センター窓口

富里市	TEL 0476-90-0081	FAX 0476-90-0081
成田市	TEL 0476-22-2050	FAX 0476-24-2367
八街市	TEL 043-443-1649	FAX 043-443-1742
酒々井町	TEL 043-496-1171	FAX 043-496-4541

千葉県障害者権利擁護センター窓口

TEL	043-223-1020	または 1019
FAX	043-222-4133	sjourei@pref.chiba.lg.jp

瓜田に履を納れず、李下に冠を正さず



障害のある人が尊厳を保ち、安心して暮らしていくよう平成24年10月から、虐待を発見した場合の通報義務を定めたり、虐待を受けた人の保護や家族の負担の軽減、虐待防止などを図るために法律がスタートしました。

私達、清郷会でも虐待防止委員会や権利擁護委員会などを各施設に立ち上げ、虐待の早期発見と虐待の防止に努めています。

ここでは簡単に千葉県から発行された広報啓発パンフレットより抜粋して、障害者虐待防止法の紹介をしたいと思います。



利用者さんと温泉へ一泊旅行に

行った際の宏昭さん

先日、障害者虐待防止に関する研修に参加する機会をいたいた。自分でも虐待に対する考え方を改める良い機会となつたので、皆さんにも自分の行動を見つめ直す機会としていただけれどと思う。平成二十四年十月から障害者虐待防止法が施行された。障害者防止法では、養護者・障害者福祉施設従事者等・使用者による身体的・心理的・性的・経済的虐待及びネグレクトを障害者虐待（※1）と定めている。

国民には、虐待を受けたと思われる障害者虐待に対する認識不足から、虐待ゼロの社会を目指さなければならぬ。また虐待に対する認識不足から、虐待を招かないためにも、研修等に参加するなどして資質の向上を図り、障害者虐待の防止のための啓発活動に努めるなどして障害のある人が安心して暮らせる「虐待ゼロ」の社会を目指さなければならない。

ふと学生時代に学んだ漢詩を思い出した。『瓜田に履を納れず、李下に冠を正さず』。利用者さんの尊厳を守る立場として、その言葉を肝に銘じ、今後も支援していきたい。

虐待とは…

協和厚生園 作業主任 三橋宏昭

先日、障害者虐待防止に関する研修に参加する機会をいたいた。

自分でも虐待に対する考え方を改める良い機会となつたので、皆さんにも自分の行動を見つめ直す機会としていただけれどと思う。

平成二十四年十月から障害者虐待防止法が施行された。障害者防止法では、養護者・障

害者福祉施設従事者等・使用者による身体的・心理的・性的・経済的虐待及びネグレクトを障害者虐待（※1）と定めている。

過去の事件や障害のある人への虐待が後を絶たないため、障害者虐待の予防及び早期発見を図り、障害者の権利利益の擁護に資することを目的としている。

虐待と知りつつ行つ行為はもっての外だが、自分でも虐待を知らず識らずの内に行い、相手を傷つけている恐れもある。自分では遊びやふざけているつもりであつても、それは自身の思い込みであつて、相手にとっては苦痛であつたり、第三者から見た場合には、虐待をしていると思われる場合もある。

まず回収にご協力くださっています、協力店様に御礼を申し上げます。開所当初から次第に増えています、今や五六十店舗のご協力を頂戴しています。中には森永乳牛の支店様等もご協力いただいているです。

開所当初、初めての月累計は二千七百二十kgでしたが、そこから毎月回収量が増加していく、今や月累計が一万飛んで七十kgにまでなりました。それに比例し利用者の皆さんの工賃も毎月登りです。誠にありがとうございますからも、段ボール回収にご協力いただけるようお願い申し上げます。

「室外作業においての、段ボール回収量紹介」

三月二十三日の土曜稼働日…。普段調理を担当している林田職員はお休みとの事で、私広報委員の黒澤が借越ながら調理を担当させていただきました。時間の関係上写真に収める事ができませんでしたが、焼きそばと鶏釜飯、ワカメスープにプリンというなんとも和と中とも言い難いメニューでした。利用者の皆さんは美味しいと言いい食えていただきましたが、ご飯が少々固かったと思います…。

作り方としては、まず野菜を適当な大きさにぶつたります。次に肉ですが、適当な大きさにぶつたります。人数が十二人ほど多い為麺と野菜を分けて炒めます。後は混ぜて完成といったところです。

鶏釜飯は丸美屋頼みの、ワカメスープは出来合いの物を使用させていただきました。調理はこれで完成。



新人職員からのメッセージ！

三月二十三日の土曜稼働日…。普段調理を担当している林田職員はお休みとの事で、私広報委員の黒澤が借越ながら調理を担当させていただきました。時間の関係上写真に収める事ができませんでしたが、焼きそばと鶏釜飯、ワカメスープにプリンというなんとも和と中とも言い難いメニューでした。利用者の皆さんは美味しいと言いい食えていただきましたが、ご飯が少々固かったと思います…。

作り方としては、まず野菜を適当な大きさにぶつたります。次に肉ですが、適当な大きさにぶつたります。人数が十二人ほど多い為麺と野菜を分けて炒めます。後は混ぜて完成といったところです。

鶏釜飯は丸美屋頼みの、ワカメスープは出来合いの物を使用させていただきました。調理はこれで完成。

昨日十月にワークわく・きよさとの職員として採用していましたが、早くも半年が経ちました。新しく立ち上がったワークわく・きよさと共に私自身全て一からのスタートという事で、正直不安と期待の気持ちでいっぱいでした。利用者さんと過ごしていく中で私の支援の行い方は良いものなのかなと立ち止まる事もありますが、先輩職員方からアドバイスを頂き学ばせて頂ける、そんな良い環境の中にいる事を改めて実感しました。積極的に関わっていく事で私自身が職員方、そして利用者さんに支えられていると強く感じています。

利用者さんとしつかり向き合い一人ひとりの気持ちを理解しサポートしていきたい、中でも働くという事の楽しさや達成感を感じて頂き、利用者が就労という目標に向かって日々取り組んでいくように支援を行っていきたいと思います。

まだ不安な事は多いですが、利用者さんともっと関わりを築き、共に頑張り共に成長していきたいと思います。

ワークわく・きよさと 生活支援員 大堀穂菜美

ワークわく・きよさと

「就労移行施設?つまりそれって何なの?」

以前に高校の同級生から聞かれた質問。誰でも知っているもの…。

というわけではなく、どんな所なのか知らない方達が多くいらっしゃるかと思います。

「社会福祉法人 清郷会」初の指定就労移行支援事業所として建てられたワークわく・きよさと。ここはつまりどんなところなのか。

【2年間】とは?

まず良く耳にするのが「2年間」というワード。この2年間という法律によって定められたスパンは、大まかに言つてしまえば利用者が就労移行施設に通い始めてから、就職をするまでの「期限」です。この2年間というスパンの中で就職が出来なかつた場合、それ以降は再度就労施設を利用するのであれば2年間のやり直しです。この2年間、文字にしてみれば長く感じますが、実際に経験してみれば月日が流れるのは早くあっという間です。日々利用者がいかにして就職できるかを職員一同で考える毎日…。その毎日の内で我々職員は何を行っているのか。

【サービスの内容】は?

◎一般就労等への移行に向けて、事業所内や企業における作業や実習、適正に合った職場探しを行い、就労後の職場定着の為の支援。これは読んで字の如し。日々の作業の中で利用者さん一人ひとりに合った作業内容を見出し、実習等を通じて本格的に働き始め、その後のフォロー（離職しないような働き掛け）をする事です。



◎通所によるサービスを原則としつつ、個別支援計画の新規状況に応じ、職場訪問等によるサービスを組み合わせた支援。つまり、通所で毎日施設に通いつつ、利用者さん一人ひとりの個別支援計画の通り具合に応じて、その人に合うと思われる（または望まれる）職場に訪問し、働きかけていただけるかを見に行くという事。

字面では簡単なように思われますが、私黒澤もまだまだ未熟な支援員の一人…。利用者さんみんなが就職できるかが毎日心配です…。



スタッフ班 片山真由美



第2子を出産後、昨年、現場に復帰。何年経っても変わらない、その優しい眼差しに救われる利用者さん・職員が多い。しがしながら目は悪い。

班副責任者 押野 修



今、協和厚生園から居なくなってしまったは一番困る存在かも知れない。みんなを盛り上げるムードメーカーでありながら、時に繊細な心配りで頑張る。

班責任者 山田恵理子



あねご肌で皆から慕われている。笑い方は豪快であるが、甘いらしい気品やしなやかさを持つ、大切な存在。ツッコミが無い。しかし、その穏やかな笑顔に喜ぶ男性職員も多い。

班副責任者 横井 龍矢



入社3年目にして、班の副責任者を任せられた協和厚生園の期待の星。眞面目な仕事ぶりと、恰好良いのに天然キャラ、そしてそのさわやかな笑顔に心奪われる。

班責任者 須野友記枝



母親のような強さと、妹のような愛嬌を合わせ持つ、心配りのできる素敵な女性。利用者さんへの愛情も深く、利用者さん・職員の心の換り所となっている。

スタッフ班 荒居 恵



日吉厚生園で経験を積み、昨年度から協和厚生園へ異動。さすがと思われる利用者さんとの相性で、日に日に協和厚生園での存在感が増している。

スタッフ班 石井 敏貴



社会人を経験しているだけあって、しっかりとした考え方を持つ。その仕事は正確かつ迅速で、プライベートでもたいへんマメと聞こえ。好きな色はオレンジ。

スタッフ班 永嶋かおり



コンビニの店長から転身し3年目を迎える。社会経験、人生経験が豊富で、話しているととても勉強になる。ミドルエイジから絶大な人気を誇る美熟女。

ワーク班 能代 隆



男気溢れる熱血漢。千葉ロッテマリーンズをよく愛す、利用者さんに「良きお兄ちゃん」といつた存在。いつも元氣でいる。

ワーク班 雉藤 孝安



会部長を「最近、みんなと飲む機会が少なくなった」と少し寂しそう。携帯電話の中はお孫さんの写真がいっぱい。オーシャンブルーは後藤職員担当。

スタッフ班 田井真奈子



いつもニコニコしているが、芯は強く地味な仕事をこなす。信頼は得た。これから本領と個性を発揮し飛躍が期待される。

スタッフ班 高橋 和代



家政科を卒業しており、裁縫や料理はお手の物。利用者さんと接する、その姿はまさしく「やさしいお母さん」。愛車も琉璃にやさしいイブリット車。

ワーク班 永堀 順子



頭脳明晰という言葉がピッタリな社会福祉士の資格を持つ若手職員。

ワーク班 間口 優也



与えられた仕事を真摯にこなす。保育士の資格を取得し学校を卒業してから、まだ2年目だが、ベテランのような落ち着いた雰囲気を持つ。しながら心は熱い！

ワーク班 鈴木 一尋



社会福祉士の資格を持ち、協和厚生園の「ゆるキャラ」的な存在。「一緒に行く所には何かが起きる！」ハーフング大賞見事に獲得！

スタッフ班 稲田 由加



場の空気を和ましてくれる笑い声と、明るい性格で日々の勤務であるが、すでに欠かせない存在となっていく。愛称は「種ママ」。

スタッフ班 小川 瞳



ヴィジュアル系の容姿ながら、その立ち振る舞いからは信頼の香りがする。気配りのできる、しっかり者で、とても周囲の評判が良い。

ワーク班 高藤 芳輝



不二学園に勤めた後、社会人を経験。しかし、福祉の世界への思いを断ち切れず、一大決心をして学生時代に実習を行った協和厚生園に再就職。その後から決意の強さを感じられる。

NEW ワーク班 小山 愛里



はじめまして。今年から協和厚生園で働くことになりました。小山愛里です。趣味は音楽鑑賞、特技はスポーツです。元気いっぱい頑張ります。よろしくお願いします。

2013 協和厚生園 職員名鑑

協和厚生園

〒286-0202

千葉県富里市日吉倉1082-3

Tel 0476-93-1535

Fax 0476-93-1506

HP <http://www.kiyosatokai.or.jp/>

メール kyowa@kiyosatokai.or.jp

主任 並木かすみ



主任として大変な量の仕事を抱えているが、笑顔で家庭と仕事を両立させている。ハイタリティー溢れる、その姿はかすとどろが、年々、輝きを増している

主任 宮地 亮樹



一番頼りになる男といって過言ではないだろう。困難という困難のすべてが笑顔で解決される。人間ドックで注意を促されても、ヒールの量は変わらない。宝物は息子を撮るために買った一眼レフ。

課長 常世田勝己



面倒臭の良い強面のお兄さんといつた存在から、今や貴様も身につけ、協和厚生園の大黒柱に成長。常世田課長のリーダーシップが敵の難題を解決する。

NEW 國長 水野 進



新しい協和厚生園のボス。昨年度までは十倉厚生園の課長であった。「鉄人」と呼ばれ、その仕事量と人柄から、誰からも信頼を受けていた人格者。キンカスと同級生。

※ 〇〇〇

監修・課長・看護師

〇〇〇

ワーキングマリーバー

〇〇〇

ステップ生活

看護師 宮田 量恵



利用者さんの高齢化や、障害の重度化に伴う通院数の増加、薬の管理など、その仕事はまさに激務。笑ラツボが新鮮。

作業主任 三橋 宏昭



1年間分のお米を作る由を、利用者さんと一緒に管理。その他、畑の管理など、外作業を一手に引き受けける。笑顔と鼻歌、半そで姿がトレードマーク。

副主任 石井 基之



写真を見て分かる通りの色男。物腰は柔らかいが、男らしく、女性性別問わず信頼は厚い。様々な仕事を抱えているが、特に木工技術はプロ級である。押野職員が大好物、トS。

副主任 藤間 啓子



「私は副主任は荷が重い」と話していたこともあったが、そこはやはり職員、利用者みんなから信頼され愛される、バーソナリティの持ち主。本人の不対応とは裏腹に、皆から仕事に対する姿勢に尊敬の念を抱かれている。

副主任 斎藤 健一



いつのまにか古株になつたが、まだ勤務年数が長いだけという悪い噂と戦う。最近ショックだった出来事は4歳の息子に神経衰弱（トランブ）で負けたこと。今年こそJ1（ジェフ千葉）。

副主任 大竹 和子



深い愛を感じられる協和の母。勤続20年を超えて表彰を受けた。共助会の広報紙に掲載された福祉に対する思いは必読。カラオケの十八番「聖母たちのララバイ」は必聴。



山口 晓



武田 詠美

私が九十九荘に来てからもう一年が経ちます。初めて業務に就いた時、ドキドキし不安でいっぱいだったのを今でも覚えています。忙しそうにしている先輩を見て自分にこの仕事ができるのか?と思つていました。そんな忙しい業務も、今は、上司や先輩方とみんなで協力しあい、頑張っています。この一年、仕事に慣れる事で精一杯でしたが、4月からは、焦らず余裕を持ってまた新しい気持ちで仕事を面き合い、より深く入居者さんに寄り添つて行けるよう改めて頑張って行きたいです。

私が九十九指に勤めてもうすぐ一年になります。始は業務の流れや内容を覚えるのが大変で私は物覚えがあまり良くなく、業務の流れを書いた表をいつも持ちながら業務を行なっていました。入社し5ヶ月が経ち、ようやく業務に慣れ始め、入居者さんとコミュニケーションを取りながら業務を行なうことも出来る程になりました。これからも業務をしつかり行い、入居者さんと少しすつでも良い信頼関係を築ける様に努力して行こうと思っています。

皆さん笑顔と生活の質の向上を目指して
私は週に四回程、午前中にホールで利用者の皆さんと体操を行っています。ただ列を作つて並んでもらうのではなく、皆さんに

皆さん笑顔と生活の質の向上を目指して

私は週に四回程、午前中にホールで利用者の皆さんと体操をしています。ただ列を作つて並んでもらうのではなく、皆さんには一つの大きな輪になつてもらっています。そうする事によつて、一人ひとりの顔が良く見渡すことが出来るからです。

私の体操は、リズミカルな音楽に合わせて体を動かし、全身の筋肉をほぐします。又、一緒に歌をうたつたり、季節の話題を取り入れた雑談（時には私の渾身のギャグ）等を40分程ですが行なっています。

利用者さんどうしの交流の場でもあり、体操中もお互いにたくさんの笑顔も見られます。体操だけにとらわれず皆さん思い思いの時間を過ごしています。

私が言葉に迷うと、時には利用者さんから教えて頂くこともあります。高齢になると身体を動かしやすくなると思います。体操に参加してもらうことで、少しでも不意の事故や怪我を予防してもらいたいという事と、毎日の日常生活を楽しく過ごしてもらいたいという気持ちを利用者さんの笑顔に思って頑張っています。介護支

援貢行木 美奈子

援貢行木 美奈子

加古川市立図書館

貢張つています。

過ごしてもらいたい

竹子の隠れ

で協力しあい、頑張っています。この一年、仕事に慣れる事で精一杯でしたが、4月からは、焦らず余裕を持つてまた新しい気持ちで仕事に向き合い、より深く入居者に寄り添つて行けるよう改めて頑張って行きたいです。

2013年(平成25年)4月26日

清 纸 今 新 月



二月廿日

第一特養にて節分の豆まきを行いました。
そのままの豆粒はとても堅いので利用者さんの大好きな小袋に入った甘納豆で行いました。

皆さんとても勢いよく鬼に扮した職員に向かって、「鬼は外!、福は内!」と豆をまきました。



卷之三

春の2大イベント！豆まき&ひな祭り会

3月3日（日曜日）
特養でひなまつりイベントを行いました。ひな



きりん組(4歳児)

・オヘレッタ「ごひとのくつや」
初めて、大勢のお客さんの前で台詞を言いました。緊張したけど、大きな声で話したり、歌ったり、とても楽しもうでした。

・合奏「キラキラ星」
カスタネット、鉦、タンバリン、ピアニカ4つの楽器で演奏しました。初めてのピアニカは最高でした。



らいおん組(5歳児)

・歌「head shoulders knees and toes」「こここのねっこ」
ボランティアの石川さんに教えてもらった英語に興味を持ち 手遊びをしながら楽しく歌いました。
力強く澄んだ声に会場は感動ていっぱいになりました。

・劇「金のがちょう」
配役は子ども達が決めました。初めは恥ずかしかっていましたが、徐々に、役になりきって楽しんでいました。

発表会を終えて

保育士 内田 鈴乃

今回、私は発表会の係りに選ばれた。発表会は園の行事の中でも大きな行事うちのひとつ。係りに選ばれた時は「皆さんに楽しんでもらえるだろうか?」と、とても不安に思った。不安な思いを抱えながら準備を進めていく中で、日々、懸命に練習に取り組む子ども達の姿が私の励みとなった。

発表会当日、可愛い衣装を身にまといそれぞれの発表を披露する子ども達。緊張して固くなってしまう子や泣き出してしまう子、堂々と舞台に立つ子と様々だったが、皆とても良い表情をしていたと思う。

発表会終了後、保護者の方々からは「我が子の成長を目の当たりに出来、感動した。」という言葉を多く頂き、嬉しさと同時に安堵感がこみ上げて來た。

無事に発表会を終えられたのは、全職員や保護者の方々の協力があったからこそだと思う。この経験を生かし、今後も皆さんと力を合わせながら、日々の保育に励み、素敵な行事を作りあげていきたい。



お楽しみ発表会

青空保育園

平成24年12月1日(土)開催

子ども達は、ままごと遊びやヒーローごっこが大好きです。その発展として、楽しい表現活動を保護者の方々に見て頂きました。



ぶどう組(0歳児)

・劇遊び「やさいさん」
0歳児の可愛い子ども達が色々な野菜になって登場しました。

・「おやさいいっぽい」～の曲に合わせて畠から飛び出しました。



いちご組(1歳児)

・ダンス「サンサン体操」
いちご組はみんなアンパンマンが大好きです。アンパンマンになりきり元気100倍踊りました。

・劇遊び「てふくろ」
大きな手袋を見つけて遊び始めました。沢山のお客様の前で、大きな声でお返事できました。



さくらんぼ組(2歳児)

・ダンス「ヘビカニクス」
大好きなAKBのヘビーローテーションとエビカニクスをミックス。毎日ノリノリで楽しんでいました。

・個性のある帽子の表情にも注目です。

・劇遊び「三匹の山羊のからからどん」

大好きなお話を劇遊びにしてみました。

毎日、からからどんごっこで遊びました。怖さも可愛らしさもあるトロルに人気が集まりました。



ぱんだ組(3歳児)

・歌「そうだったういいのにな」

歌う事が大好き、大きな歌声で口が張り裂けそうになりました。

・劇遊び「こうかたのまんまるパン」

お爺さんとお婆さんが作ったまんまるパンは食べられるのが嫌で森の中へ逃げていきました。



成人を迎えて
町田 貴子

あなたが生まれてからも遡しかつたです。でも、二十歳を迎えるまでには色々な事が、ありました。

小さい頃は、「言語が無く、行動に落ち着きがないので、理解が出来ずに私は、解つてやれず、あなたは、私に解つてもうえず、お互いに苦労しました。でも、毎年、少しどちが出来る事が増えてからは、無理をせずに自然に関われるようになりました。

二十年間の中には、嬉しいことや楽しいこと、悲しいこと、辛いことがありましたが、無事に成人を迎えることが出来てとても嬉しかったです。

夏祭りではお神輿、バザー、ゲーム、盆踊り。園での活動では、腕輪や髪飾り、カチューシャや首飾り、刺し子、ピン止めを作っています。楽しい思い出がいっぱいあります。

又、日吉厚生園で、茨城県にある牛久大仏様を見に行き大仏様の下で、班の人達と記念写真を撮りました。東京都にある葛西臨海水族園にも行きました。とても楽しかったです。道の駅オライはすぬまでは、海の広さにびっくりしました。貝殻を沢山拾い、今でも大切に持っています。上野動物公園にも行ってきました。パンダや水鳥などいろいろな動物が見られて、楽しかったです。浅草にも行きました。雷門、仲見世、五重塔、東京ジャパンなど色々なところを見て歩きました。楽しい思い出になりました。香取神宮にも行きました。紅イモコロッケが美味しかったです。



厚生園の思い出 H・M

今では、厚生園の生活も楽しいです。友達も出来、毎日楽しく暮りしております。これからも頑張りたいと思います。よろしくお願ひします。

か・・・。見通しがつかず、とても暗くなる毎日。唯一、検診に行く日が疲れますが気分転換になりました。今は、思うどこの時期、弱音を吐いた方が良かったなと思いました。

一才を過ぎると徐々に食生活も安定し、少し樂になりました。娘は小さい時は人見知りが強く、すぐ照れてしましました。現在は少し控えて欲しいと思っています。まだまだ自分で出来ないことが沢山あります。少しでも出来る様に、なるべく自分でやらせようと思います。最後になりましたが、スタッフの皆さん色々とお手数おかけしますが、宜しくお願ひします。主人にも色々と協力してくれてありがとうございます。主人にどう、感謝しています。

学校に入学すると自分の意思を表現しないと先生、お友達から離れてしまい、寂しいということが分かり、徐々に表現することができ、出来る様になります。娘はミルクの飲みが悪く、顔色が悪くなる為、心配なので専門の病院へ転院しましようとした。振り返ってみようと思います。入院中、雪が降り積もっていたことが、記憶に残っています。娘はミルクの飲みが悪く、顔色が悪くなる為、心配なので専門の病院へ転院しました。入院は一ヶ月半。退院後は母の時間はなく、娘中心の生活。いつまで続くのかな。
本当に嬉しいです。

日吉厚生園 新年会

1月19日、ラディソンホテルにて協和・日吉家族会主催の新年会が行われました。200名の方が参加され、余興を見ながら中華のメインコースを食べました。ピンゴゲームも行い楽しい時間を過ごしました。その中で、還暦者・新成人のお祝いも行われ、町田義仁さん・荒原由美子さん・H・Mさんの3名の方が門出を迎えられました。今回は、その3家族に今までの思い出やこれから意気込みを聞いてみました。

二十歳を迎えて
荒原千代子

月日が経つのも早いもので、三回で二十歳を迎えます。二十一年無我夢中でした。振り返ってみようと思います。入院中、雪が降り積もっていたことが、記憶に残っています。娘はミルクの飲みが悪く、顔色が悪くなる為、心配なので専門の病院へ転院しました。娘からお話をあり、転院しました。入院は一ヶ月半。退院後は母の時間はない、娘中心の生活。いつまで続くのかな。
まだまだ自分で出来ないことが沢山あります。少しでも出来る様に、なるべく自分でやらせようと思います。最後になりましたが、スタッフの皆さん色々とお手数おかけしますが、宜しくお願ひします。主人にも色々と協力してくれてありがとうございます。主人にどう、感謝しています。



絵 町田義仁